

放課後等デイサービスぐりお 事業所における自己評価表結果

公表：令和 3年 3月 18日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			新型コロナウイルス流行もあり、屋外での活動ができない状況にあった。 今後は、活動内容によって体育館や運動場のような広い場所を活用していきたい。
	②	職員の配置数は適切であるか		○		個別の対応が必要な時など、人員不足と感じる場面もあるため、個別スペースの活用方法など、工夫が必要。 送迎ルートが増えたことにより、人員不足にならないよう、送迎の調整を細かに行っている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			日常では、勤務時間の違う非常勤職員の参加が難しい状況にあり、引継ぎノート等に対応している。 全体としては、月例会議で必要な内容を検討・共有している。
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			いただいた意見に対し、事業所として対応できることから、改善に努めていきたい。
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者評価の実施は行っていない。 SVによる外部評価を受け、改善に努めている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			各職員の資質向上に対して、法人内外の研修に職員の積極的な参加を促している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			作成した個別支援計画を複数職員で確認し、ニーズや課題に対する具体的な支援内容が示しているか確認をしている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントを共有しているが、ポイントとなる行動や状況を洗い出しにくく、全体的な把握になってしまいがちのため、より重点的に掘り下げられるようなシートを作成し、個別支援計画に反映していくことが必要。

適切な支援の提供	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか		○		本人の状態に焦点を絞ってしまうことが多く、家族支援や地域支援など、本人を取り巻く全体をしっかりと把握できなかった。 →学校や家族など、より連携を密にとりながら、本人を取り巻く環境の把握に努めていきたい。
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			作成時には内容の共有を行っているが、日々の中でPDCAが行えていない現状がある。
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			担当者の立案に対して、それぞれの職員が意見を出し合ったり、実際に行っていく中で改善すべき点はその都度変更していくようにしている。
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			基本的には集団活動に対する計画を立てており、個別に必要な場合は、その内容も取り入れている。
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日の打ち合わせの中で、実施している。勤務時間の違う職員との共有が難しい現状がある。
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録の取り方や、記入しておくべきポイントへの気づきを促している。
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			作成に時間がかかり、実施時期が遅れてしまうため、計画的な実施と面談の調整が必要。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				当事業所には該当者はいない。

関係機関や保護者との連携	⑳	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				//
	㉑	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		保育園や幼稚園は、学校との連携が多く、放課後等デイサービスとの関わりは少ない。
	㉒	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			必要に応じて情報共有や連携を実施している。
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			個別のケースを通じて連携している。
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	
	㉕	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			今年度は新型コロナウイルス流行のため実施されなかった。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		送迎の際に様子を伝えたり、連絡ノートでのやりとりや、気になることは直接電話連絡をしているが、不十分だと感じている。しっかり時間を設けて、共有したり保護者の方からの意見をいただく機会を設けていきたい。
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか			○	何か相談があったり、事業所からの情報の中で、保護者をお願いしたいことなどは、その都度伝えている。
保護者への説明責任等	㉘	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	㉙	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		気軽に相談できたり、事業所から伝えた内容を実施し、保護者や本人が安心できる状況になったという実績の積み上げが足りない。 職員のスキルの向上や保護者や本人とのより関係性の向上が必要。

保護者への説明責任等	③④	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者の方のいろいろな思いや考え方等を考慮して実施していない。
	③⑤	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			できるだけ迅速な対応を心掛けているが、申し入れやご意見を気軽にできる環境を整えていきたい。
	③⑥	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	会報などの配布ができていない。今後、作成に向けて検討していきたい。
	③⑦	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	③⑧	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか				
	③⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	具体的な行事や活動には、個人情報の関係上、参加してもらう機会は設けていないが、建物内の使用や職員との関係構築などを心掛けている。
非常時等の対応	④⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか			○	各種マニュアルを作成し、職員に周知しているが、保護者の方への周知が不十分である。今後、マニュアルを保護者の方へ配布するなどを実施していきたい。
	④⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			防災訓練は年2回実施予定。
	④⑫	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			利用契約時にアレルギーや持病などの確認を行っている。また、普段からの体調不良等について、情報共有に努めている。
	④⑬	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の指示書がある場合は、保護者から情報提供をいただいている。
	④⑭	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			小さな出来事でも、なるべくヒヤリハットを作成するよう、職員に周知し未然に事故防止を心掛ける意識をつけるようにしている。
	④⑮	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年1回、研修会実施している。また、第三者からの視点を常に取り入れ、日頃の接し方や言葉などを注意するようにしている。
	④⑯	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか			○	該当するケースはないが、虐待防止研修を通じて、必要時の対応等を周知していく。